

西ティモールから

A M D A 医師ら帰国

岡山の本部で報告

東ティモールから多数の
避難民が流入している西テ
ィモールの難民キャンプに

派遣されていた A M D A
（アジア医師連絡協議
会、本部・岡山市）の救
援チームが五日帰国、岡
山市榑津の本部で帰国報
告をした。

帰国報告したのは、広島

市の調整員、栄永唯利さん
（三九）ら五人。栄永さんは現
地の厳しい医療状況を報告
し、「来月以降現地は雨期
に入るため伝染病の流行が
心配だ」と、支援の継続の
必要性を強調した。

日本人救援チームは、医
師、看護婦ら七人。九月二
日から二十六日にかけて
日本を出発。二日まで西テ
ィモールのケファメナヌに
ある難民キャンプを中心に
医療救援活動をした。現

在も、A M D A のインド
ネシア、パキスタン両国
人医師五人が活動を続け
ている。